

梅林校区通学路安全対策 ワークショップ



第2回
ワーク
ショップを
開催 (7/12)

梅林校区で第2回通学路安全対策ワークショップを開催

第2回通学路安全対策ワークショップ

令和7年7月12日（土）の午前10時00分より、梅林公民館において第2回通学路安全対策ワークショップを開催しました。参加者は、うめっこサポーターズクラブ、地域安全見守り隊、まちづくり協議会、交通安全協会などの方々です。

ワークショップに先立ち説明会を実施し、参加者の皆さまには、事前に危険箇所を聞き取りするなどの準備をいただくと共に、梅林小学校からは児童からの危険箇所の意見をいただきました。

「危険箇所の見える化」地図

車両走行データ、交通事故統計データ、

事故発生リスク評価を重ね合わせた

「危険箇所の見える化」地図をご覧ください

様々な立場の参加者の皆さまから、

通学路の危険箇所について積極的に発言いただき

活発な話し合いが行われました。



▲「危険箇所の見える化」地図

▼ Aテーブルでの話し合い



通学路の安全対策の検討

通学路の安全対策について、

様々なハード・ソフト対策の事例を

参考に具体的な対策案を検討して

いただきました。

▲ Bテーブルでの話し合い



▲ Dテーブルでの話し合い



▲ Cテーブルでの話し合い



通学路安全対策ワークショップの様子



説明会 5/10に
第1回ワーク
ショップで、
説明会を開催
しました。



雰囲気

チームワークが
よく充実した
ワークショップと
なりました。

意見交換
皆さん
積極的に活発な
意見交換を
しました。



DX

モニターや
タブレットを
使用しDXを
推進



共有

各テーブルの
危険箇所を
発表して
参加者全員で
共有



第37回全国健康福祉祭ぎふ大会

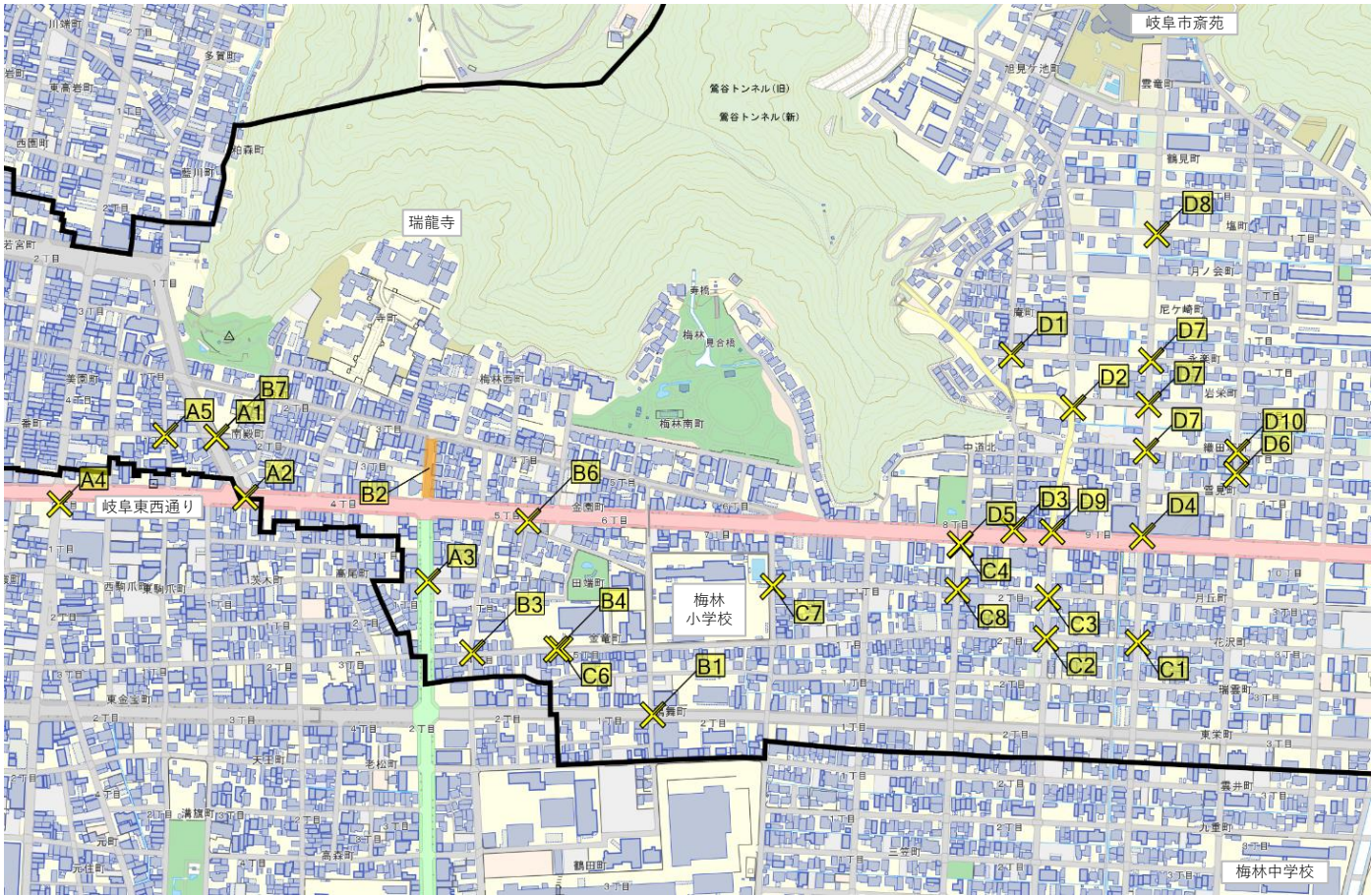
ねんりんピック岐阜2025

清流に 輝け ひろがれ 長寿の輪

2025年10月18日(土)～21日(火)

ワークショップで挙げられた通学路危険箇所（梅林校区）

A～Dテーブルで挙げられた危険箇所



箇所	危険要因	箇所	危険要因
A1	西進する車が右左折するとき、歩道の歩行者が見えにくい	C4	歩道橋を渡らず、道を通る子どもがいる
A2	減速せず左折する車が多く、横断歩道を渡る子どもが危険 左折車線が2車線あり、左側の車の影に歩行者が隠れてしまう	C6	法務局へ出入りする車が多い
A3	交通量が多く、横断禁止の標識があるが、歩行者も自転車も横断する	C7	多くの子どもが南北へ横断するが、交通量が多く、横断歩道がないため危険
A4	北進車が右折する際、対向車の右折車両で直進車両が見えず、勢いよく直進する車が入り危険	C8	交通量が多く、子どももよく使う道だが、以前子どもと車の接触事故があった
A5	交差点の見通しが悪く、西進車が交差点ぎりぎりまで前に出ないと見えない 自転車の学生が飛び出してくることも多い	D1	トンネルから坂になっており、東進する車がスピードを出したまま交差点に入り、停止線で止まらない
B1	南進車が右折する際、横断歩道の歩行者より先に右折しようとする車が多く、事故が多い	D2	南進する車が停止線があるのにも関わらず、停止しない車がある 通学路ではないのに通っている小中学生が多い
B2	南北の道幅が狭いため、子どもと車がすれ違う際、危険	D3	自転車が歩道をスピードを出して走るので危険
B3	一方通行を逆走する車がある 北進の際、右側が見えづらい	D4	抜け道として通学路を通る車があり危険 朝は特にスピードを出している車が多い
B4	合同庁舎から出た際、一方通行が分かりにくい 通学路の標示がなく、通学路であることが分かりにくい	D5	歩道橋を渡らず、道を通る子どもがいる
B6	岐阜信用金庫交差点の信号と連動しているため、信号を見落とす車がある	D6	この場所だけ水路の柵がなく、子どもが入る危険がある
B7	交差点の事故が多い	D7	トンネルからの抜け道で車が多く、停止線で車がとまらない
C1	交差点の見通しが悪く、南進時、東からくる車や、歩行者が見えにくい	D8	出会頭の事故が多い
C2	スピードが速い車が多く、一方通行を守らない車がある	D9	東西方向に横断する際、道幅が狭いが、右折して北進する車が非常に多い
C3	横断歩道があるが、止まる車が少なく 交差点を小回りして左折する南進車があり、子どもに接触する恐れあり	D10	通学する子どもが多いが、横断歩道がなく危険

次回ワークショップでは、上記の中から**優先順位**をご検討いただき、**対策実施箇所を絞り込み**ます。

岐阜市基盤整備部道路建設課

☎(058)214-2191